

ものづくりの技術習得へ

新たに22人が入所

ポリテクセンター会津

就業のため「ものづくり」の技術を身につける会津職業能力開発促進センター（ポリテクセンター会津）の入所式は一日、会津若



入所した22人にあいさつする萩原所長（左）

松市の同センターで行われ、住宅リフォーム技術科に十九人、機械加工技術科に三人の合わせて二十二人が入所した。

一人一人が名前を呼ばれ、萩原所長が入所を許可し、あいさつした。式後にオリエンテーションを行い、職員が各種手続きや今後

のスケジュールなどを説明した。

同センターでは平成二十四年二月から震災復興支援の一環として「震災復興訓練」を住宅電気設備科で始めた。その後、同科が電気設備技術課に変更した後も平成二十七年まで実施し、計百五十四人の修了生を送り出した。今回、復興の進展や被災地の労働市場の状況に合わせ、不足気味の建築人材育成に向けて、同訓練を「住宅リフォーム技術科」に移して継続する。

住宅リフォーム技術科は、復興に生かせるような木造住宅の構造や内外装リフォーム作業などについて基礎から実践的な内容までを六カ月間で習得する。機械加工技術科は製図や旋盤の作業技術の習得などに加え、ビジネススキル講習などを合わせて七カ月間学ぶ。